はじめに

ネットワーク切替ユーティリティは有線LANネットワークを利用した自社の環境や、外出先からのダイヤルアップなどあらかじめ作成したさまざまなネットワーク設定（プロファイル）を切り替えることができるソフトウェアです。

切り替え可能なネットワークデバイス、及び切り替え可能な主な項目は以下のとおりです。

切り替え可能なネットワークデバイス

(1) 内蔵有線LAN

(2) 内蔵11M無線LAN(802.11b、無線LAN内蔵モデルのみ)

(3) LANデバイス　※1

(4) 内蔵モデム

(5) モデムデバイス　※1

※1：「初期設定ツール」にて設定したLANデバイス、モデムデバイスの切り替えを行います。

切り替え可能項目

(1) ネットワーク/モデムデバイスの有効/無効の切り替え

各ネットワーク/モデムデバイスの有効/無効の切り替えを行う事は出来ます。これにより、不必要なネットワークのアクセスを防ぎます。

(2) TCP/IPプロトコルの設定変更

ネットワークのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、WINS、DNS等のTCP/IPの設定を変更する事が出来ます。

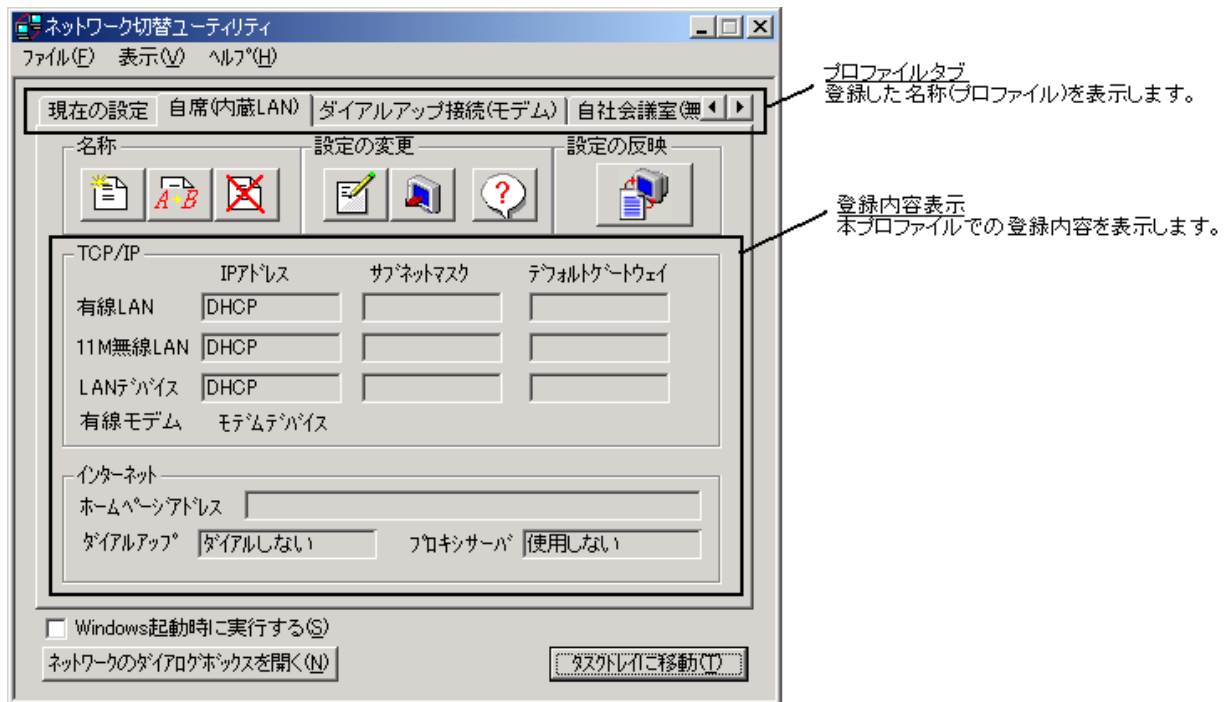
(3) Internet Explorer の設定変更

Internet Explorerのホームページアドレス、ダイアルアップ設定、プロキシーサーバの設定を変更出来ます。

Microsoft(R)、Windows(R)は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corp.の登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

メイン画面

ネットワーク切替ユーティリティの画面は以下の通りです。

※　[名称] 内ボタンの説明

名称の新規作成

名称(プロファイル)を新規に作成します。
インストール直後は、まず本選択を行い、プロファイルを作成して下さい。
プロファイル数は最大16個作成出来ます。

名称の変更

すでに作成した名称(プロファイル)名を変更します。

名称の削除

すでに作成した名称(プロファイル)を削除します。
プロファイルが不要になった場合に削除してください。

※ [設定の変更]内ボタンの説明

パラメータ変更

プロファイルの項目(IPアドレス等)を変更します。

現在のPCの設定を読み込む

PCで動作している各設定値(IPアドレス等)を読み込み、本プロファイルに反映します。

ヘルプ

本ヘルプファイルを起動します。

※ [設定の反映]内ボタンの説明

設定の反映

プロファイルの設定項目をPCに反映(設定)します。

Windows起動時に実行する(S) **[Windows起動時に実行する]チェックボタン**

チェック時、Windows起動時にネットワーク切替ユーティリティを起動し、タスクトレイに常駐させます。

ネットワークのダイアログボックスを開く(N) **[ネットワークのダイアログボックスを開く]ボタン**

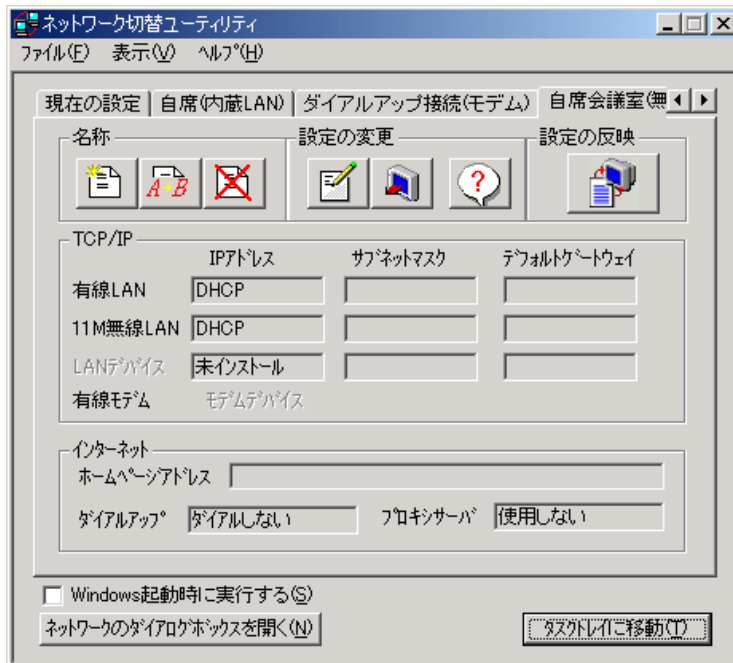
[コントロールパネル]内の [ネットワークとダイアロブボックス接続] のダイアログボックスを表示します。

タスクトレイに移動(T) **[タスクトレイに移動]ボタン**

ダイアログボックスを終了し、タスクトレイに移動します。

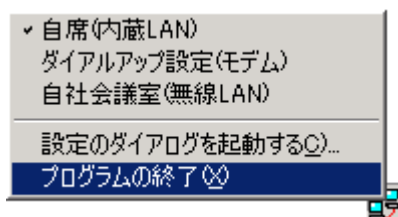
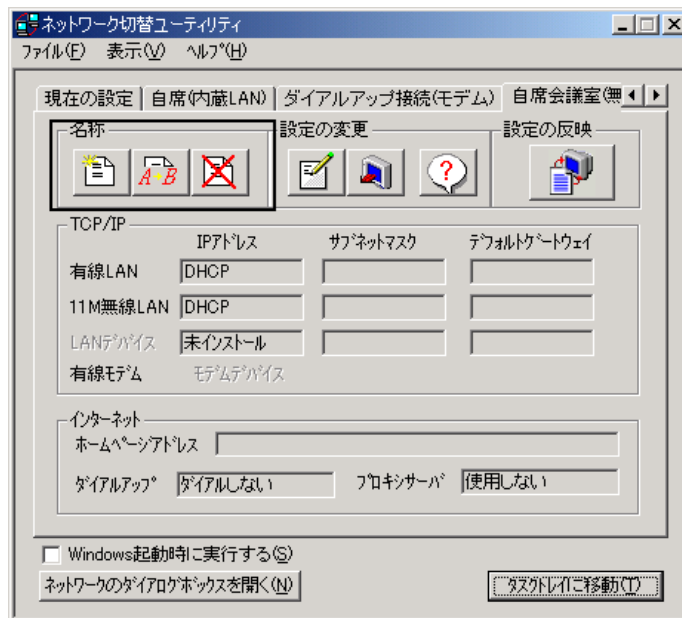
起動／終了

起動方法

［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows2000の場合は［プログラム］）-［HITACHIネットワーク切替ユーティリティ］より［HITACHIネットワーク切替ユーティリティ］を選択し開きます。

本ユーティリティを起動すると、画面右下のタスクトレイ内に本ユーティリティのアイコンが表示されます。アイコンをダブルクリック、又は右クリックから[設定のダイアログを起動する]を選択するとネットワーク切替ユーティリティのメイン画面が起動します。

終了方法

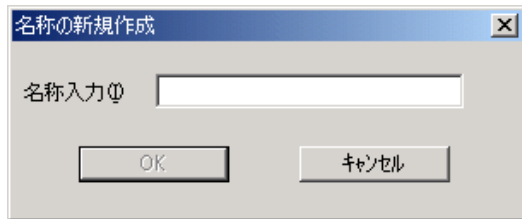
本ユーティリティの終了方法は、[ファイル]－[プログラムの終了]、又はタスクトレイアイコンを右クリックし、[プログラムの終了]をクリックします。

プロファイルの設定方法

プロファイル(名称)の作成方法について説明します。プロファイルの作成はメイン画面で行います。

名称の新規作成

名称(プロファイル)を新規に作成します。
インストール直後は、まず本選択を行い、プロファイルを作成して下さい。
プロファイル数は最大16個作成出来ます。

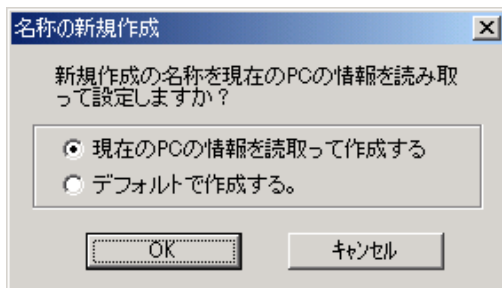
名称の変更

すでに作成した名称(プロファイル)名を変更します。

名称の削除

すでに作成した名称(プロファイル)を削除します。
プロファイルが不要になった場合に削除してください。

名称の新規作成

新たなプロファイルを作成します。

(1) [名称の新規作成]ボタンをクリックします。

(2) 名称を入力し、[OK]ボタンをクリックします。名称は、半角30文字、全角15文字以内にしてください。また、すでに作成した名称と同じ名称は作成出来ません。

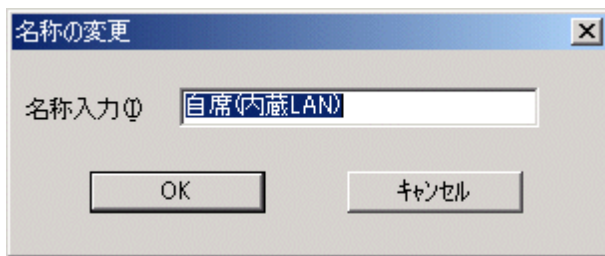
(3) プロファイルの設定項目をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。

現在のPCの情報を読取って作成する	各設定項目を現在のPCで動作してしている値(IPアドレス等)を設定します。
デフォルトで作成する	設定項目をすべて「変更しない」で作成します

名称の変更

すでに作成した名称(プロファイル)名を変更します。

(1) **名称を変更したいタブをクリックします。(クリックしたプロファイルが表示されます)**

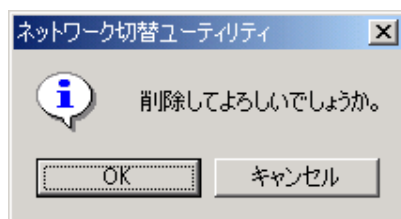
(2) [**名称の変更**]**ボタンをクリックします。**

(3) **名称を変更し、**[OK]**ボタンをクリックします。**

名称の削除

すでに作成した名称(プロファイル)を削除します。

(1) 削除したい名称タブをクリックします。(クリックしたプロファイルが表示されます)

(2) [名称の削除]ボタンをクリックします。

(3) 確認のメッセージボックスが表示されます。削除する場合、[OK]ボタンをクリックします。

[注意事項]

(1) 削除したプロファイルは復帰出来ません。再度作り直してください。

(2) 現在の設定は削除出来ません。

パラメータの変更方法

作成したプロファイルの各パラメータの編集/変更方法を説明します。

(1) **編集するプロファイルを表示します。**

(2) [**パラメータ変更**]**ボタンをクリックします。**

(3) **パラメータ変更のダイアログボックスが表示されます。各パラメータを変更し、**[OK]**ボタンをクリックします。**

パラメータ変更で設定出来る項目は次頁以降をご参照ください。

使用デバイス

各デバイスの使用可/禁止を設定します。

本設定は変更せず、PCの設定のままとする(N) **[本設定は変更せず、PCの設定のままとする]ボタン**

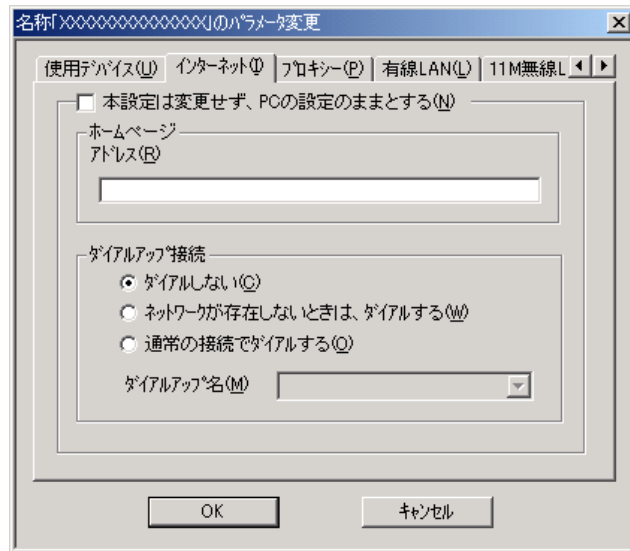
チェック( )した場合、使用デバイスのON/OFFの切替は行いません。

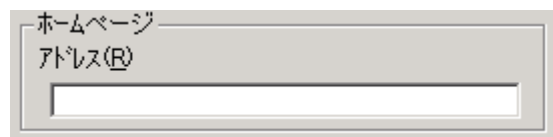
、 デバイスのON/OFF切り替えチェックボックス

デバイスの使用可能( )、使用禁止( )を設定出来ます。

デバイスを使用禁止にした場合、そのデバイスを使用出来なくなります。

インターネット

Internet Explorer**の設定を変更します。**

[本設定は変更せず、PC**の設定のままとする]ボタン**

チェック(☑)した場合、インターネットタブの設定項目は変更しません。現在のPC**の設定状態のままにします。**

ホームページ
アドレス(R)

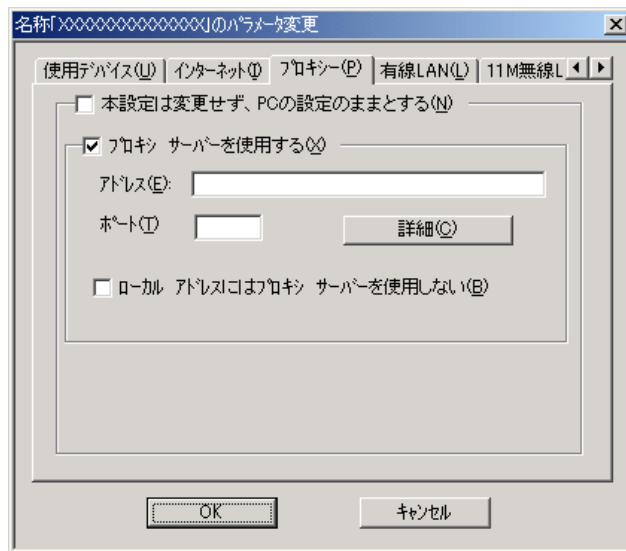
[ホームページアドレス]

Internet Explorer**を起動した際の最初に表示するアドレスを入力します。**

ダイアルしない(C)
ネットワークが存在しないときは、ダイアルする(W)
通常の接続でダイアルする(O)

Internet Explorer**を起動した際の動作を指定します。**

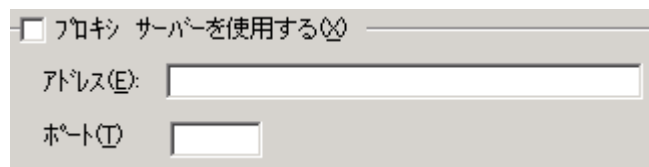
プロキシー

Internet Explorerのプロキシーサーバの設定を変更します。

本設定は変更せず、PCの設定のままとする(N) [本設定は変更せず、PCの設定のままとする]ボタン

チェック(☑)した場合、プロキシータブの設定項目は変更しません。現在のPCの設定状態のままにします。

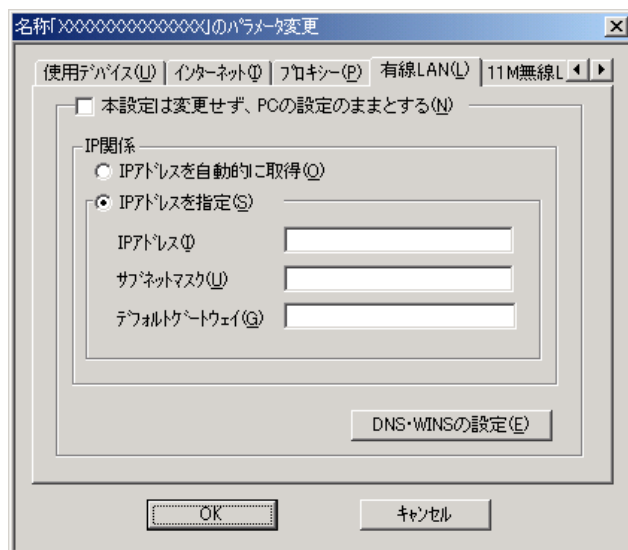
プロキシ サーバーを使用する(X)
アドレス(E):
ポート(T)

プロキシーサーバの設定を行います。

詳細(C) [詳細]ボタン

下記のダイアイアログボックスを表示します。

プロキシの設定
サーバー
種類
使用するプロキシのアドレス
ポート
HTTP(H):
Secure(S):
FTP(F):
Gopher(G):
Socks(C):
すべてのプロトコルに同じプロキシ サーバーを使用する(U)
例外
次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない(N):
セミコロン (;) を使用してエントリを分けてください。
OK
キャンセル

IPアドレス

ネットワークデバイスのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。

本設定は変更せず、PCの設定のままとする(N) **[本設定は変更しない]チェックボックス**

チェック( )した場合、設定変更時に本タグ項目(IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ)は変更しません。現在のPCの設定状態のままにします。

IPアドレスを自動的に取得(O) **[IPアドレスを自動的に取得]ボタン**

チェック( )時、DHCPサーバより各TCP/IPプロトコルの情報を入手する設定にします。

IPアドレスを指定(S) **[IPアドレスを指定]ボタン**

チェック( )時、スタティック設定になります。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入手してください。

デフォルトゲートウェイは省略可能ですが、IPアドレス、サブネットマスクは必ず入力が必要です。

また、各項目は1アドレスのみ有効です。複数のIPアドレス等は設定出来ません。

DNS･WINSの設定(E) **[DNS･WINSの設定]ボタン**

DNS、WINSサーバのアドレスを指定します。下記のダイアログボックスを表示します。

DNS/WINSの設定
DNS
DNSを使わない(D)
DNSを使う(E)
ﾌﾟﾗｲﾏﾘDNSｻｰﾊﾞ(P)
ｾｶﾝﾀﾞﾘDNSｻｰﾊﾞ(S)
WINS
WINSの解決をしない(W)
WINSの解決をする(X)
ﾌﾟﾗｲﾏﾘWINSｻｰﾊﾞ(R)
ｾｶﾝﾀﾞﾘWINSｻｰﾊﾞ(E)
OK
ｷｬﾝｾﾙ

プロファイル (設定) の切り替え方法

作成したプロファイル(設定)をPCに反映する方法を説明します。

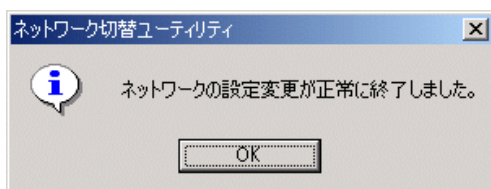
[注意事項]

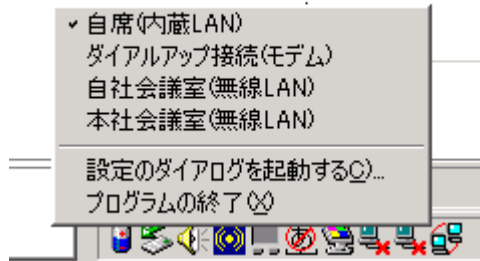
(1) **本ツールは設定を変更する際に管理者権限が必要になります。管理者権限でログインしてご使用ください。**

メイン画面から切り替える場合

(1) **切り替えを行うタブを選択し、プロファイルを表示します。**

(2) **[設定の反映]ボタンをクリックします。**

(3) **設定変更のダイアログボックスが表示され、設定を変更します。**

(4) **変更後、下記のダイアログボックスを表示します。**

タスクトレイから行う場合

(1) 本ユーティリティを起動し、タスクトレイにある本ユーティリティのアイコンを右クリックします。

(2) 作成したプロファイルの一覧が表示されるので、切り替えるプロファイルを選択しクリックします。

[注意事項]

(1) ネットワークアクセス中には、切り替えを行わないでください。通信が切れる場合があります。

(2) 設定の変更には数分かかる場合があります。設定変更中の再度の切り替え、ネットワークへのアクセスは行わないでください。

エラーメッセージ

起動に関するエラーメッセージ

本プログラムはWindows2000/XPで動作します。プログラムを終了します。

本プログラムはWindows2000、XP専用です。その他のOSでは動作しません。Windows2000/XPにインストールしてご使用ください。

環境設定がされていません。環境設定ツールにて、切り替えを行うデバイスを指定してください。

デバイスが設定されていないため、切り替えを行う事が出来ません。まず、「環境設定ツール」を起動し、環境設定を行ってください。

設定の入力に関するエラーメッセージ

名称が重複しています。違う名称を入力してください。

「名称の新規作成」、「名称の削除」にてすでに登録済みの名称を入力した場合に表示されます。違う名称を入力してください。

IPアドレスまたはサブネットマスクが入力されていません.IPアドレスとサブネットマスクを入力してください.

[IPアドレスを指定]を選択した場合、IPアドレス、サブネットマスクを入力する必要があります。DHCP設定にするか、項目を入力してください。

DNS/WINSサーバが入力されていません.DNS/WINSサーバのIPアドレス入力してください

DNSを使う(WINSの解決をする)を選択した場合、各サーバのアドレスを入力する必要があります。各サーバのIPアドレスを入力してください。

設定の変更に関するエラーメッセージ

インターネット関係のレジストリキーの書き込みでエラーが発生しました。アクセスに十分な権限があるか確認してください。

インターネット関係の設定を変更する際にエラーが発生しました。本変更には管理者権限が必要です。管理者権限で再ログインしてから、[設定の変更]を実行してください。

有線LAN(11M無線LAN/LANデバイス)関係のレジストリキーの書き込みでエラーが発生しました。アクセスに十分な権限があるか確認してください。

各ドライバ、プロトコルの設定を変更する際にエラーが発生しました。本変更には管理者権限が必要です。管理者権限で再ログインしてから、[設定の変更]を実行してください。

ドライバの設定変更中にエラーが発生しました。アクセスに十分な権限がありか確認してください。

各デバイスの有効/無効を切り替える際にエラーが発生しました。本変更には管理者権限が必要です。管理者権限で再ログインしてから、[設定の変更]を実行してください。

有線LAN(11M無線LAN/LANデバイス/有線モデム/モデム)ドライバの設定が変更出来ません。Windowsを再起動してください。

各デバイスの有効/無効の切り替えをダイナミックに行えません。デバイスの設定を変更するには、Windowsの再起動が必要です。Windowsを再起動してください。

有線LAN(11M無線LAN/LANデバイス)のドライバ情報が入手出来ません。有線LAN(1無線LAN/LAN)のドライバをインストールしてください。

各LANドライバの検索が失敗しました。Windowsを再起動して再度実行してください。Windows再起動後の同様のメッセージが表示される場合、ドライバのインストールに失敗している場合があります。再度、対象のLANドライバをインストールしてください。

有線LAN(11M無線LAN/LANデバイス)のTCP/IPプロトコルの情報が入手出来ません。有線LAN(11M無線LAN/LANデバイス)の設定を変更するためにはTCP/IPプロトコルをインストールしてください。

TCP/IPプロトコルがインストールされていません。TCP/IPの設定を変更するにはTCP/IPプロトコルをインストールしてください。

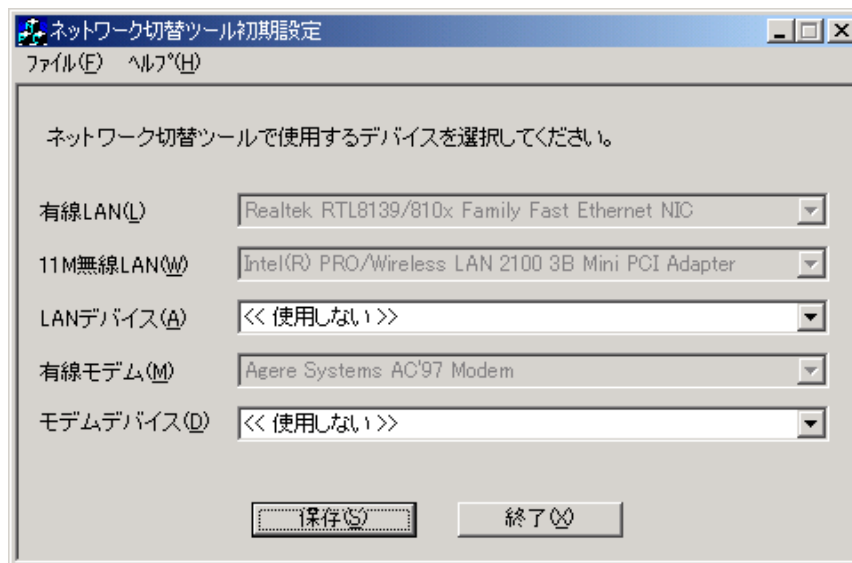
書き込み中にエラーが発生しました。書き込み権限があるか確認してください。

[Windows起動時に登録する]ボタンでの登録に失敗しました。管理者権限で再ログインしてから再度実行してください。

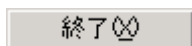
初期設定ツールの使い方

初期設定ツールにて初期設定を行うことにより、ネットワークデバイス、モデムデバイスを追加することが出来ます。

起動方法

[スタート] - [すべてのプログラム]（Windows2000の場合は [プログラム]）- [HITACHIネットワーク切替ユーティリティ] より [初期設定ツール] を選択し開きます。

ボタンの説明

保存(S) **[保存]ボタン**

設定した情報を保存します。

終了(X) **[終了]ボタン**

本プログラムを終了します。

メニューの説明

[非表示デバイスも表示する]

起動(動作)していない全てのLAN、モデムデバイスを表示します。

[アプリケーションの終了]

本プログラムを終了します。

切り替えデバイスの追加方法

LANデバイス、モデムデバイスに切り替え可能なデバイスが選択されます。切り替えを行いたいデバイスを選択し、[保存]ボタンをクリックします。

[注意事項]

(1) ドライバを未インストール時は、デバイスは表示されません。ドライバをインストール後に「初期設定ツール」を実行してください。

(2) [有線LAN]、[11M無線LAN]、[有線モデム]はそれぞれ内蔵デバイスで固定となっています。変更することは出来ません。

(3) [LANデバイス]、[モデムデバイス]には、[有線LAN]、[11M無線LAN]、[有線モデム]と同じデバイスを選択することは出来ません。